

もくじ ● 認知バイアス
心に潜むふしぎな働き

はじめに 3

第1章 注意と記憶のバイアス — チェンジ・ブラインドネスと虚偽の記憶 15

- | | | | |
|-------------|----|----------------|----|
| ① 注意は限られている | 16 | ② 注意をしても見えない | 18 |
| ③ 2種類の注意 | 24 | ④ 記憶のバイアス、改変 | 27 |
| ⑤ 目撃者証言を考える | 29 | ⑥ 見えてもあるとは限らない | 31 |

ブックガイド 34

第2章 リスク認知に潜むバイアス——利用可能性ヒューリスティック 35

- ① 人は起こりやすさをどう推定するか 36
 - ② 少ないことは多め、多いことは少なめ 38
 - ③ リハーサル効果と利用可能性ヒューリスティックの起源 41
 - ④ メディアと利用可能性ヒューリスティック 44
 - ⑤ 記憶に作用する諸々の要因 51
 - ⑥ ヒューリスティックの誤作動と逆利用 53
- ブックガイド 54

第3章 概念に潜むバイアス——代表性ヒューリスティック 57

- ① 連言錯誤 58
- ② 概念とカテゴリー 62
- ③ カテゴリー化を支えるプロトタイプ 64
- ④ プロトタイプはどう作られるか 66

- ⑤ サンプルング 68
 - ⑥ 代表性ヒューリスティック 70
 - ⑦ 社会的ステレオタイプ 72
 - ⑧ 心理学的本質主義 74
 - ⑨ 帰属と対応バイアス 75
 - ⑩ 代表例が役立つ時、間違う時 77
- ブックガイド 79

第4章 思考に潜むバイアス——確証バイアス 81

- ① 論理からの逸脱——4枚カード問題 82
- ② 確証バイアス——2—4—6の後には何が続くか 84
- ③ 第一印象 87
- ④ 因果関係と確証バイアス 89
- ⑤ 確証バイアスはなぜ生まれるか 91
- ⑥ 仮説検証のためのデータ選択 93
- ⑦ 初歩的な問題を間違いに導くものとは 96

第5章 自己決定というバイアス 103

5 ① 欲求、意図、自由意志 104

5 ③ 伝染する意図、目標 111

5 ⑤ 私たちは脳の奴隷なのか 120

5 ⑦ 人はなぜ宇宙人に誘拐されるのか／作話の正体 125

5 ⑧ さまざまな因果とその誤用 128

5 ⑨ 意志と行動、そして意図を超えて 131

ブックガイド 134

第6章 言語がもたらすバイアス 137

6 ① 言語のもたらすもの 138

6 ③ 言語は思考を停滞させる 145

6 ② 言語は記憶を阻害する 142

6 ④ 言語は絵を下手にする 149

6 ⑤ 言語の苦手科目 153

6 ⑥ 世界と言語 157

6 ⑦ 武器としての言語、害につながる言語 162

ブックガイド 163 付録 164

第7章 創造（について）のバイアス 165

7 ① 創造を阻む制約 166

7 ③ 制約を緩和する評価 174

7 ⑤ 知らないうちにひらめく 178

7 ⑦ イノベーションを考える 184

7 ⑧ 創造の女神が微笑むのは…… 189

ブックガイド 190

第8章 共同に関わるバイアス 193

- ① 集合知をどう考えるか 195
 - ② 同調く右へならう心 199
 - ③ 共同を阻害する要因 202
 - ④ 分散、分業がもたらすもの 204
 - ⑤ 共感というバイアス 210
 - ⑥ 1たす1は2にならない時に起こること 213
- ブックガイド 215

第9章 「認知バイアス」というバイアス 217

- ① 二重過程理論の問題 219
- ② 直感の方がうまくいく 222
- ③ 認知の文脈依存性 225
- ④ 限定合理性と生態学的妥当性 230
- ⑤ 心理実験のワナ―別の問題を解いてしまう 233

- ⑥ 心理実験のワナ2―言葉の裏を読んでもしまう 237
 - ⑦ 愚かさを裏側から考える 241
 - ⑧ 修繕屋としての知性 244
 - ⑨ 現代社会とバイアス 247
 - ⑩ 人の知性、そしてA―、チンパンジー 252
- ブックガイド 254

おわりに――結局、人は賢いのか、バカなのか 257

さくいん 262